



子どもの歯と発達の関係は？

大阪大学歯学研究科・豊中市歯科医師会と共同研究を開始

豊中市は、大阪大学大学院歯学研究科、（一社）豊中市歯科医師会と共同し、子どもの歯と口の健康に関する研究を6月21日から開始します。

近年、食事をよくかまない・かめない子どもが増えていると考えられており、子どもの口腔機能が注目されています。しかし、子どもの口腔機能を定量的に評価する方法や口腔機能と発育発達の間連は、十分に明らかではありません。

そこで、今回、市が過去に実施した乳幼児健診のデータを大阪大学大学院歯学研究科が解析し、子どもの口腔機能と発育発達の間連を調査します。研究成果を活かし、科学的な視点で、子どもの心身の健やかな成長や発達を促す歯科診療や保健指導を目指します。

共同研究「小児の成長発育と口腔機能の発達に関する調査」の概要

研究組織

大阪大学大学院歯学研究科

（一社）豊中市歯科医師会、豊中市健康医療部

研究内容

平成30年度・31年度に実施の乳幼児健診を受診した子どもの口腔内診査・発育発達・生活習慣に関するデータを基にした調査

研究期間

令和3年（2021年）6月～令和5年（2023年）3月

研究費

本共同研究は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）未来社会創造事業 探索加速型「世界一の安全・安心社会の実現」領域の研究開発課題「幼少期の咀嚼機能が健やかな発達をもたらす作用機序」の一部として実施されます。また、本共同研究契約にあたって、（一社）豊中市歯科医師会から大阪大学大学院歯学研究科に共同研究費が提供されています。



（左から）大阪大学大学院歯学研究科長 今里 聡教授、豊中市 長内繁樹市長、豊中市歯科医師会 真鍋哲也会長

【お問合せ先】

健康医療部 母子保健課

[担当] 松浪・森本・中村 TEL:06-6858-2283

